

住民力による地域創造、そして未来再考

第22回  
環境自治体会議

# ニセコ会議

リゾート地・ニセコから  
伝え継ぐもの

平成26年5/22(木)・23(金)・24(土)

会場 ニセコ町民センターほか

主催 環境自治体会議ニセコ会議実行委員会  
環境自治体会議・ニセコ町

## 参加のご案内

【と き】平成26年5月22日(木)・23日(金)・24日(土)

【と ころ】北海道ニセコ町 ニセコ町民センターほか

【主 催】環境自治体会議ニセコ会議実行委員会／環境自治体会議／ニセコ町

【後 援】環境省北海道地方環境事務所／北海道

# ごあいさつ

このたび、ニセコ町において第22回環境自治体会議ニセコ会議を開催するにあたり、皆様にご案内を申し上げることを大変うれしく思います。

ニセコ町は、北海道の南西部に位置する人口約4700人の町で、町の面積の約7割が山林と原野で占めており、町の中央を清流日本一に輝いた尻別川が流れているなど豊かな自然に恵まれた土地です。

町の主要産業は、国際的な評価も高いスキーなどの観光と、じゃがいも等の畑作や水稲を中心とした農業です。ニセコ町の観光と農業は良好な自然環境があって成り立つものであることから、かねてより環境に配慮したまちづくりを進めています。

私たち実行委員は、この会議を通して参加される皆様と共に、豊かな自然環境を守り・育てることを念頭に置き、後世に託すために今いる世代が何をすべきなのかをテーマとして議論を深めて行きたいと考えております。

皆様のご参加を実行委員一同、心からお待ちいたしております。

## 第22回環境自治体会議ニセコ会議

### 実行委員長 松田裕子

会員自治体（53自治体） 2013年5月現在

〔北海道〕ニセコ町 斜里町 士幌町
〔秋田県〕能代市 藤里町 大潟村
〔山形県〕酒田市 金山町 高島町 庄内町 遊佐町
〔茨城県〕古河市 東海村 ひたちなか市 那珂市
〔埼玉県〕和光市
〔千葉県〕市原市
〔東京都〕足立区 八王子市 日野市 福生市 小笠原村
〔新潟県〕湯沢町
〔福井県〕敦賀市 勝山市 坂井市 若狭町
〔長野県〕飯田市
〔岐阜県〕多治見市

〔静岡県〕三島市
〔三重県〕松阪市
〔滋賀県〕東近江市
〔京都府〕八幡市
〔大阪府〕豊中市 枚方市 交野市
〔兵庫県〕伊丹市
〔奈良県〕生駒市
〔山口県〕宇部市
〔愛媛県〕新居浜市 内子町
〔高知県〕梼原町
〔福岡県〕柳川市 筑後市 大川市 古賀市 大木町
〔熊本県〕水俣市 天草市
〔宮崎県〕綾町
〔鹿児島県〕日置市 屋久島町
〔沖縄県〕読谷村

# 1 会議日程

## 第1日目 5月22日(木) 全体会(会場:ニセコ町民センター)

11:00	受付開始
13:00	開会式 ・開会宣言 実行委員長 ・環境自治体会議代表幹事あいさつ ・歓迎あいさつ ニセコ町長 ニセコ町議会議長 ・来賓あいさつ
13:30	基調講演「住民の力で行なう環境政策のすすめ(仮)」 講師 飯田市長 牧野 光朗 氏
14:30	休憩
14:45	パネルディスカッション(ニセコ会議の論点提起) テーマ「住民力による環境活動の実践～行政をうまく使う環境のまちづくり」 コーディネーター 環境自治体会議アドバイザー 福嶋 浩彦 氏
16:30	終了
17:00	環境自治体会議総会 ニセコ町民センター(会員自治体のみ)
19:00	環境自治体会議懇親会 ヒルトンニセコビレッジホテル(会員自治体のみ)

## 第2日目 5月23日(金) 分科会(各会場)・交流会(町民センター大ホール)

8:30	分科会受付開始
9:00	午前の部分科会
12:00	昼食(各分科会会場)
13:00	午後の部分科会
16:30	分科会終了
18:00	交流会(ニセコ町民センター大ホール)
20:00	交流会終了

## 第3日目 5月24日(土) 全体会(会場:ニセコ町民センター)

9:00	受付開始
9:30	環境自治体会議ニセコ会議成果報告及び成果報告に基づくパネルディスカッション コーディネーター 環境自治体会議事務局長 中口 毅博 氏
11:30	ニセコ会議宣言採択
11:50	次期開催地あいさつ(奈良県生駒市)
12:00	閉会
12:15	オプションツアー

## **2 分科会について ※今後、内容は変更する場合があります。**

### **【午前の部分科会】**

#### **第1分科会（公共部門の環境配慮）** 会場：第2庁舎1階大会議室

テーマ「環境に配慮した公共施設～厳しい財政状況に負けない環境のまちづくり」

コーディネーター 秋元智子（環境自治体会議アドバイザー）

多くの自治体では、先導的取り組みとして排出される温室効果ガスや廃棄物の抑制など、環境に配慮した取り組みを行っている一方で、地方財政は年々厳しい状況が続き、必ずしも環境事業に予算を傾注させることができていない。厳しい財政状況の中でも、住民や行政が先導的な環境事業への積極的な取り組みを行うことで新たな事例が生まれている。この事例を参考にしながら、環境配慮のあり方を議論する。

【日程】 9:00～10:00 話題提供

10:00～12:00 話題提供を受けてのディスカッション

#### **第2分科会（エネルギー）** 会場：町民センター2階研修室1

テーマ「北海道内自治体による再生可能エネルギーの活用事例」

コーディネーター 大友詔雄（㈱NERC代表取締役センター長）

日本のエネルギー需要状況は、景気低迷や東日本大震災後の節電・省エネ傾向の高まりから減少傾向になりつつも、景気回復傾向や電力不足懸念等によりエネルギー需給体制の見直し、再生可能エネルギー導入の加速が求められている。しかしながら、地域にある資源を地域住民が自ら活用し、エネルギー需給をうまくコントロールする仕組みを構築しなければ持続可能な地域づくりを進めることは難しい。住民の創意工夫によるエネルギーの創出と利用をどのように行うべきか、北海道内の自治体の先進的事例を参考に、住民力による再生可能エネルギーの活用について相互討論を行う。

【日程】 9:00～10:30 話題提供と議論

10:30～12:00 フィールドワーク（ニセコ町地域を中心にエネルギー関連施設の見学）

#### **第3分科会（水環境）** 会場：町民センター2階研修室2

テーマ「水資源保護と活用～水環境とまちづくりを考える」

コーディネーター 持木克之（国立大学法人東京工業大学特別研究員博士）

ニセコ町では住民が主体的に議論し、幾度も清流日本一になっている尻別川の利用ルールを定めるなど、水環境の保全に対し、住民が主体的に取り組み、行政と共に活動を続けてきた。この活動が、水資源保護への機運の高まりとなって、水涵養保全関係条例の制定へ向けた取り組みにつながったと言える。水は生命の源と位置づけ、住民と共に水環境保全を積極的に取り組む北海道内の先進的事例を参考に、水資源の保護などの必要性や手法などについて相互討論を行う。

【日程】 9:00～10:30 話題提供と議論

10:30～12:00 フィールドワーク（ニセコ町地域を中心に河川、水道関連地域の見学）

#### **第4分科会（生物多様性/環境学習・ESD/地域協働）** 会場：町民センター1階大ホール

テーマ「オビラメの会～イトウ（オビラメ）保護の活動」

講師 オビラメの会

尻別川は絶滅危惧種イトウ（サケ科）の生息南限だが、近年の自然破壊などの影響で繁殖環境が急速に失われ、個体群は絶滅寸前の状態であった。地元住民や釣り人が中心となり、個体群の復元を目指してオビラメの会が設立され、「オビラメ復活30年計画」という基本方針の下、尻別川産イトウ親魚を飼育し、人工授精によって得たイトウ稚魚を再び川に戻すことで自然繁殖復活の取り組みを地域住民自らが進めている。住民力による再生までの取り組みを通して、住民主体の保護活動について考える。

【日程】 9:00～10:00 参加者と議論

10:00～12:00 フィールドワーク（オビラメの産卵の状況（産卵場所）の見学）

**※この分科会に参加の方は長靴・防寒着等をご用意ください。**

## 第5分科会（廃棄物・資源循環） 会場：町民センター1階小ホール

テーマ「暮らしから見る廃棄物・資源循環」

コーディネーター 中村恵子（健康・環境デザイン研究所長）

2011年度の日本のごみ総排出量は4,539万tで、1人1日当たりのごみ排出量は975gとなっており、2000年度以降継続的に減少傾向にある。しかし一般廃棄物の74%が焼却処分されており、世界一の焼却処分率となっている。環境への配慮や焼却灰の埋め立てへのリスクを考慮すれば、ごみ排出抑制が重要であり、資源の再活用の面からも分別・リサイクルを徹底させることが大切である。一方でリユースへつなげるためには、住民の廃棄物に対する理解力と活動が重要である。4R（Reduce、Reuse、Recycle、Refuse）についてあらためて考え、企業と住民、行政が取り組むべき課題を探りながらごみ排出抑制のあり方について考える。

【日程】 9:00～10:00 フィールドワーク（ニセコ町一般廃棄物処分場、堆肥センター）

10:00～12:00 話題提供と議論

## 第6分科会（地域資源活用型まちづくり） 会場：ニセコ駅前温泉綺羅乃湯集合

テーマ「フットパスを通じた観光と環境～町内フットパスを巡り、身近な環境から考える」

講師 工藤達人（二世古楽座代表取締役）

自然環境に触れる機会が薄れていく中で、ニセコ町で取り組んでいる「フットパス」（イギリスを発祥とする森林や田園地帯、古い街並みなど地域に昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩くこと）を通して、ニセコ観光の魅力やニセコの自然環境への理解を深め、自然のすばらしさとニセコの自然環境の姿を学ぶ。また、地元を見つめなおし、地元の再評価することも重要であり、楽しみながら住民力を養成する。

【日程】 9:00～10:30 フットパスについての説明

10:30～15:00 ニセコフットパスコース 20km程度

15:00～16:30 綺羅乃湯温泉入浴

※この分科会に参加の方は運動靴、防寒着等をご用意ください。

### 【午後の部分科会】

## 第7分科会（環境行政） 会場：第2庁舎1階大会議室

テーマ「現場感覚に基づく計画策定と進行管理～職員の資質向上に向けて」

コーディネーター 西寺雅也（環境自治体会議アドバイザー）

多くの自治体では、EMSを導入しているが、必ずしもうまく機能させているとはいえない状況にある。PDCAのチェック機能が働かず実施だけに留まり、課題を多く残す事例も多い。また、住民感覚を導入し機能させるにも職員の資質に左右されることから現場の職員の資質向上が重要な課題となっている。住民力と職員力をうまく融合させることで、より良い環境政策を策定し、持続可能な地域づくりとするためのEMSの取り組み手法と職員の資質向上のあり方を中心に論議する。

【日程】 13:00～14:00 話題提供

14:00～16:30 話題提供を受けてのディスカッション

## 第8分科会（生物多様性/地域協働） 会場：町民センター1階小ホール

テーマ「住民主体によるエキノコックス対策活動」

コーディネーター 梅田滋（有）コミュニティー研究所代表取締役）

エキノコックスは、人体内でその幼虫が肝臓などで増殖し、放置すれば90%以上が死亡する深刻な病気をもたらす動物由来（キツネ等）の寄生虫である。北海道のキツネのほぼ半数が感染しており、飼育されている犬や猫からもエキノコックスが検出されている現状にある。羊蹄山麓地域の町村では、住民と行政が一緒になってキツネの習性を利用した駆除の取り組みを行なっている。全国的にも珍しい取り組みを紹介しつつ、住民との活動を通しての地域課題の解決へ向けた取り組みのあり方について考える。

【日程】 13:00～14:00 講演「羊蹄山ろくにおけるエキノコックスの取り組み」

14:00～16:30 ディスカッション

## 第9分科会（交通都市基盤） 会場：町民センター2階研修室1

テーマ「環境に配慮した地域交通～交通弱者と環境にやさしい足の確保」

コーディネーター 松橋啓介（環境自治体会議アドバイザー）

国内のCO<sub>2</sub>排出量のうち約19%を運輸部門が占めており、うち約90%が自動車からの排出となっているが、運輸部門のCO<sub>2</sub>排出量は、2001年をピークに減少しつつある。これは自動車の燃費効率の改善が主な要因ではあるものの、1990年度に比べると未だに高い水準にある。このような現状を踏まえ、地域が一丸となって、環境に優しい交通体系を整備する必要性が求められている。環境対応車へのシフト、エコドライブの取組み、住民の協力による廃食用油のBDF化によるバス運行など、住民の目線から環境にやさしい交通のあり方を考える。

【日程】13:00～14:30 話題提供と議論

14:30～16:30 話題提供を受けてのディスカッション

## 第10分科会（地域資源活用型まちづくり） 会場：町民センター2階研修室2

テーマ「環境と産業振興を考える～食の安全と観光振興」

コーディネーター 本間弘達（榊雪屋媚山商店代表取締役）

ニセコ町では安心・安全を掲げたイエスクリーン米の導入や、あいがも農法を活用した農薬や除草剤の抑制への取組み、高品質を目指した「ふるい目」の均一化、水田の基盤整備や土づくり、低たんぱく米を作るための窒素施肥量の抑制や稲ワラの搬出、品質向上に向けた地道な努力や土壌診断による土づくりを進めている。2013年度には雪氷倉庫を建設し、さらなる良質米づくりに取り組んでいる。一方で、農業と観光の一体的な活性化を目指し、住民自らが組織した農家直売を道の駅ニセコビュープラザで行っている。住民が主体的に取り組む安心・安全な農業とは何か、住民が求める地産地消のあり方、観光業との関わりなどについて考える。

【日程】13:00～14:30 フィールドワーク（ニセコ町内の農業施設と直売所）

14:30～16:30 話題提供と議論

※午前の部、午後の部からそれぞれ1分科会を選択してください。なお、第6分科会のみ午前午後を通しての1日の行程になります。

### 【分科会一覧表】

FW=フィールドワーク

分科会（環境自治体会議共通目標）	時 間	会 場 等
午前の部		
第1分科会	公共部門の環境配慮	9:00～12:00 第2庁舎大会議室（座学のみ）
第2分科会	エネルギー	9:00～12:00 町民センター研修室1（座学とFW）
第3分科会	水環境	9:00～12:00 町民センター研修室2（座学とFW）
第4分科会	生物多様性/環境学習・ESD/ 地域協働	9:00～12:00 町民センター大ホール（座学とFW）
第5分科会	廃棄物資源循環	9:00～12:00 町民センター小ホール（FWと座学）
第6分科会	地域資源活用型まちづくり	9:00～16:30 ニセコ駅前温泉綺羅乃湯集合（FWのみ）
午後の部		
第7分科会	環境行政	13:00～16:30 第2庁舎大会議室（座学のみ）
第8分科会	生物多様性・地域協働	13:00～16:30 町民センター小ホール（座学のみ）
第9分科会	交通都市基盤	13:00～16:30 町民センター研修室1（座学のみ）
第10分科会	地域資源循環型まちづくり	13:00～16:30 町民センター研修室2（FWと座学）



### 3 参加申込方法・参加費支払方法

#### 【申込方法】

参加申込書に必要事項を記載の上、次のいずれかの方法でお申し込みください。

※①～③のいずれの場合も下記の宛名でお願いします。

宛名 第22回環境自治体会議ニセコ会議実行委員会事務局 ニセコ町役場企画環境課内

① 郵 送：〒048-1595 北海道虻田郡ニセコ町字富士見47番地

② FAX：0136-44-3500

③ メール：kankyo-e@town.niseko.lg.jp（申込書を添付してください。）

④ 持 参：ニセコ町役場1階 企画環境課

※電話によるお申し込みはお受けできません。

※申込用紙はニセコ町公式ホームページからもダウンロードできます。

#### 【申込期限】

**平成26年4月21日（月）必着でお願いします。**

#### 【参加費】 1人あたりの参加費です。

・会員自治体からの参加者 **20,000円**

内訳：大会運営費（資料代含む）、移動費、交流会費、分科会昼食代、総会運営費（資料代含む）

・道外からの一般参加者 **20,000円**

内訳：大会運営費（資料代含む）、移動費、交流会費、分科会昼食代、

NPO法人環境自治体会議環境政策研究所への寄附金（一口3,000円）

・道内一般参加者 **3,000円**（会議資料代、移動費等）

・町民参加者 無料（ニセコ町内に在住の方）

注：道内一般参加者及び町民参加者で、分科会昼食及び交流会を申し込まれる方は、別途昼食代1,000円、交流会費5,000円が必要となります。

#### 【参加費支払方法】

・ 参加申込をされた方には、4月下旬に「申込確認書」と「請求書」を送付します。内容を確認の上、到着後10日以内に指定の口座へお振込みください。振込み手数料はお申し込んだ方のご負担とさせていただきますので、ご了承ください。

・ 5月9日（金）になっても申込確認書等が届かない場合は、お手数ですが実行委員会事務局までご連絡ください。

・ 参加費の支払いは口座振込のみとさせていただきますが、それによらない場合はご相談ください。

・ 原則参加費に係る領収書の発行は行いません。必要な場合は個別にご相談ください。

・ 宿泊費については、ニセコリゾート観光協会へお支払いください。

（ニセコリゾート観光協会 電話 0136-44-2420）

#### 【参加費の変更・取り消し】

・ お申し込みいただいた内容の変更及び取り消しについては、原則対応いたしません。特別な事情等ある場合は個別に事務局へお問い合わせください。

## 4 持ち物

---

- (1) 申込確認書（4月下旬に送付します。）
- (2) マイ箸（環境に配慮のためご協力をお願いします。）
- (3) マイバック（当日配布資料用としてご準備をお願いします。）

## 5 昼食・交流会

---

5月22日（木）、23日（金）の昼食及び交流会での夕食については、事前に申し込みされた方のみ準備しています。申し込みをされない方は各自で対応していただきますようお願いいたします。

お弁当の受け渡しは、両日とも午後1時までに各会場で確認の上お渡しします。

## 6 会場のご案内

---

### 【全体会・交流会】

ニセコ町民センター〔W i F i が使えます〕      ニセコ町字富士見95番地      0136-44-2221

### 【分科会】

第1分科会・第7分科会

ニセコ町役場第2庁舎      ニセコ町字富士見55番地      0136-44-2101

第6分科会

ニセコ駅前温泉綺羅乃湯〔W i F i が使えます〕      ニセコ町字中央通33番地      0136-44-1100

上記以外の分科会

ニセコ町民センター〔W i F i が使えます〕      ニセコ町字富士見95番地      0136-44-2221

## 7 駐車場・無料送迎バス

---

会場の駐車台数には限りがございますので、乗り合わせや公共交通機関のご利用をお願いいたします。なお、公共交通機関でお越しの方については、次のとおり無料送迎バスを運行します。

### 【5月22日（木）】

・飛行機でお越しの方

**※別紙参加申込書により事前申込が必要です。なお、乗車人数10名以上で運行します。**

新千歳空港発（9：15）→ニセコ町民センター着（11：45）

・JRでお越しの方

JRニセコ駅発（9：50）→ニセコ町民センター着（9：55）

・バスでお越しの方

道の駅ニセコビュープラザ発（11：10）→ニセコ町民センター着（11：15）

道の駅ニセコビュープラザ発（12：00）→ニセコ町民センター着（12：05）

### 【5月24日（土）】

・JRでお帰りの方

ニセコ町民センター発（12：15）→JRニセコ駅着（12：20）

・バスでお帰りの方

ニセコ町民センター発（12：15）→道の駅ニセコビュープラザ着（12：20）





## 9 オプションツアー

ニセコ会議では5月24日（土）の午後から「オプションツアー」を開催します。

このオプションツアーは、ニセコ町内での昼食と観光施設見学のほか、近隣町村の施設見学を行います。最終地はJR札幌駅又は新千歳空港で解散となります。

ツアー代金	お一人様 3,000円（昼食代、施設入館料、保険含む）
申込方法	参加申込書の「オプションツアー」欄に参加の場合は（札幌）又は（千歳）を記入、参加しない場合は×を記入してください。
支払方法	事務局で申込確認後、申込確認書を送付します。その際、請求書を同封いたしますので、会議参加費と一緒にお振り込みください。

【行程】※全行程貸切バスでの移動（バスガイド付き）になります。

札幌コース、新千歳空港コースのどちらかを選んでください。

★札幌コース	★新千歳空港コース
12:15 ニセコ町民センター出発	12:15 ニセコ町民センター出発
12:30 ニセコ町・有島記念館 ↓ 有島記念館は、「カインの末裔」「生れ出づる悩み」「或る女」などで知られる大正期の作家、有島武郎の人と作品、武郎が所有した農場の足跡を紹介しています。	12:30 ニセコミルク工房レストラン「プラティーヴォ」昼食 ↓ 高橋牧場搾りたての牛乳と羊蹄山麓の恵みの素材を生かした野菜ビュッフェをお楽しみください。
13:10（出発）	13:10（出発）
13:30 ニセコミルク工房レストラン「プラティーヴォ」昼食 ↓ 高橋牧場搾りたての牛乳と羊蹄山麓の恵みの素材を生かした野菜ビュッフェをお楽しみください。	13:30 ニセコ町・有島記念館 ↓ 有島記念館は、「カインの末裔」「生れ出づる悩み」「或る女」などで知られる大正期の作家、有島武郎の人と作品、武郎が所有した農場の足跡を紹介しています。
14:10（出発）	14:00（出発）
14:30 道の駅ニセコビュープラザ ↓ 年間70万人が訪れる施設で、ニセコ町の玄関口として観光案内や特産品の販売を行うほか、ニセコの農作物直売所やニセコ産の産品を主としたショップコーナーがあり、ニセコの人気スポットです。	14:20 道の駅ニセコビュープラザ ↓ 年間70万人が訪れる施設で、ニセコ町の玄関口として観光案内や特産品の販売を行うほか、ニセコの農作物直売所やニセコ産の産品を主としたショップコーナーがあり、ニセコの人気スポットです。
15:00（出発）	14:50（出発）
16:00 余市町・ニッカウキスキー工場 ↓ 今年の9月から始まるNHK朝の連続テレビ小説「マッサン」の主人公となる、竹鶴政孝氏が創業した工場を見学します。5月からはこの工場での撮影も行われる予定で、既に観光地として脚光を浴びています。	15:20 京極町・ふきだし公園 ↓ 昭和60年に環境庁から「羊蹄のふきだし湧水」として名水百選に選ばれた公園で、札幌など近郊から多くの方が水を汲みに訪れる場所で、周辺には売店やレストラン、遊具などが設置されている観光名所です。
17:00（出発）	16:00（出発）
18:30 JR札幌駅北口到着	18:30 新千歳空港到着

※交通状況等により内容が変更になる場合もございますので、あらかじめご了承ください。

## 10 宿泊施設のご案内

ニセコ会議に参加される方へ、次の宿泊施設をご案内しております。

宿泊を希望される場合は、別紙参加申込書にてお申込をお願いします。なお、宿泊料金のお支払先はニセコリゾート観光協会になります。後日、支払方法など確認のため、ニセコリゾート観光協会（担当：加藤）よりご連絡申し上げますので、予めご了承ください。

この宿泊に関するお問い合わせはニセコリゾート観光協会（電話 0136-44-2420）でお受けいたします。

宿泊施設名	地区名	住 所	電話番号	お一人様当たり料金
ヒルトンニセコビレッジ	東山	ニセコ町東山温泉	0136-44-1111	1泊朝食 6,650円
ニセコ昆布温泉 鶴雅別荘 奎の抄	昆布	ニセコ町字ニセコ 393	0136-59-2323	1泊朝食 12,000円
ホテル甘露の森	昆布	ニセコ町字ニセコ 415	0136-58-3800	1泊朝食 8,358円
ワン・ニセコ・リゾート・タワーズ	昆布	ニセコ町字ニセコ 455-3	0136-50-2111	1泊朝食 6,500円
ニセコしろくまコテージ	里見	ニセコ町字里見 82-4	0136-44-3368	1泊朝食 6,300円
レストラン&ペンション ビスターレ・カナ	アンヌプリ	ニセコ町字ニセコ 431-1	0136-58-3330	1泊朝食 6,500円～
ペンションアマンダン&カフェテラス楓	アンヌプリ	ニセコ町字ニセコ 431-1	0136-59-2600	1泊朝食 5,500円
ペンションバンフ	東山	ニセコ町字東山 27-27	0136-44-3113	1泊朝食 5,940円
ペンションふきのとう	アンヌプリ	ニセコ町字ニセコ 482-1	0136-58-2623	1泊朝食 5,500円
ペンションブルック	東山	ニセコ町字東山 27-32	0136-44-3199	1泊朝食 6,400円～
ペンション&レストランYOUYOU	曾我	ニセコ町字曾我 370-4	0136-44-3302	1泊朝食 5,500円
ロッジ・モンブラン	東山	ニセコ町字曾我 807-3	0136-44-1117	1泊朝食 5,000円

・上記の料金は2名1室利用時のお一人様当たりの料金を表示しています。その他条件の宿泊料金につきましては別紙をご覧ください。

・部屋割りについてご希望がある場合は、参加申込書の備考欄へ記入願います。（例：1名1室希望等）

※ 環境自治体会議総会及び環境自治体会議会員懇親会へ参加される方は、移動等の都合上、できる限りヒルトンニセコビレッジでの宿泊をお願いいたします。

※ ニセコ会議開催期間中の宿泊施設から会場までの送迎につきましては、ニセコリゾート観光協会と上記宿泊施設とで調整のうえ、後日ご連絡いたします。

※ ニセコ町内には上記以外の宿泊施設も多数ございます。同封の観光パンフレットやニセコリゾート観光協会ホームページ (<http://www.niseko-ta.jp/>) をご覧ください。お問い合わせは各宿泊施設へお願いします。

※ なお、上記リスト以外の宿泊施設を利用する場合、町内の移動は各自でお願いします。



### ニセコ会議全体テーマ

住民力による地域再生、そして未来再考  
～リゾート地・ニセコから伝え継ぐもの～

#### 【お問い合わせ先】

第22回環境自治体会議ニセコ会議実行委員会事務局  
ニセコ町役場企画環境課内

〒048-1595

北海道虻田郡ニセコ町富士見47番地

電話 0136-44-2121 FAX 0136-44-3500

メールアドレス kankyo-e@town.niseko.lg.jp

ニセコ町公式ホームページ <http://www.town.niseko.lg.jp/>

フェイスブック <https://www.facebook.com/COLGEI.niseko>